



TAURUS
取扱説明書

株式会社 太陽インターナショナル
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-12-9
日本橋グレイス1F
Tel: 03-6225-2777 Fax: 03-6225-2778
<URL> <http://www.taiyoinc.jp>

目 次

ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）	3
はじめてのBRINKMANN TAURUS ターンテーブル	4
梱 包	4
設 置	5
接 続	9
演 奏	9
メンテナンス	12
保 証	12

ご使用になる前に (安全にお使いいただくために)

本機をご使用になる際には、 安全上のご注意をよくお確かめ下さい。 以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。 必ず守るようにして下さい。



警告 : 誤って取り扱うと、 死亡や重傷などに結びつく可能性があります。



注意 : 誤って取り扱うと、 傷害または物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

[設置上のご注意]



警告

- ・定格電圧 AC100Vにてご使用下さい。
- ・付属のAC電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。
- ・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
- ・AC電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
- ・AC電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
- ・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
- ・水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
- ・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
- ・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにAC電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



注意

- ・本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにして下さい。
- ・本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにして下さい。落下等でケガや物損を招く原因になります。
- ・湿度の多い場所で使用しないで下さい。結露等により故障の原因となります。
- ・ゴミやホコリの多い場所では使用しないで下さい。
- ・室内温度が5°C～40°Cの範囲でご使用下さい。
- ・振動が多く、水平でない場所には設置しないで下さい。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
- ・オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意して下さい。故障の原因になる場合があります。
- ・AC電源に、クリーン電源・安定化電源等の装置はご使用にならないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。
- ・電源投入時や切る際にはDCケーブルがしっかりと接続されているか確認してから行ってください。またご使用中にはDCケーブルは絶対に抜かないでください。

[お手入れについて]

本体の汚れは、柔らかい乾いた布で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがあります。



注意

リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずAC電源ケーブルを抜き電源をお切り下さい。感電の原因となることがあります。

はじめての BRINKMANN TAURUS ターンテーブル

梱包

本機の梱包には下記のものが入っています。

- ・ TAURUS ターンテーブル
- ・ TAURUS プラッター
- ・ プラッター中心リング
- ・ レコードクランプ
- ・ パワーサプライ
- ・ パワーケーブルと 3 ピン変換プラグ
- ・ グラウンド用ケーブル
- ・ ドライバー(速度調整)
- ・ L 型六角レンチ(アームボード取付、脚部調整)
- ・ 円形フェルト(クランプ用)
- ・ クリーニング用クロス
- ・ 取扱説明書
- ・ 保証登録書

設 置

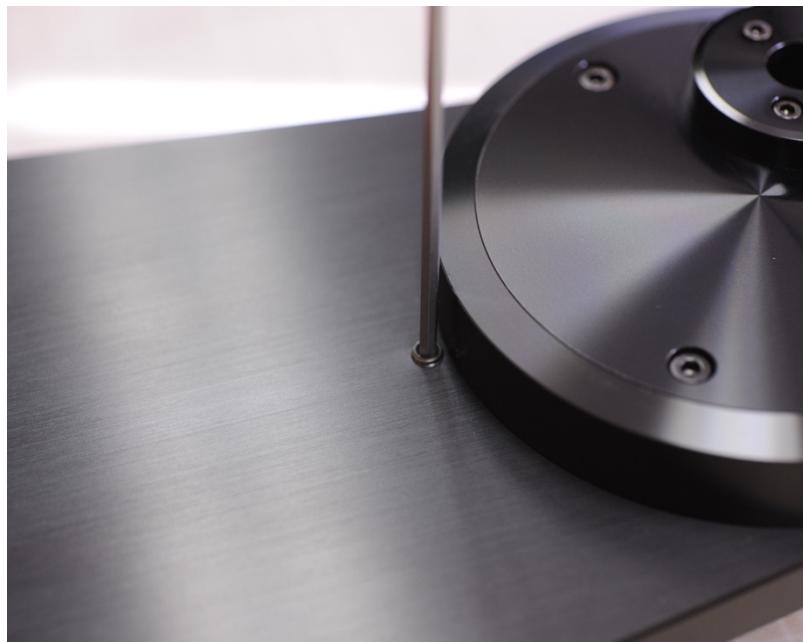
ターンテーブルは湿気のない、常温(20°C +10°C/- 15°C)の室内で使用します。電源は 100V, 50/60Hz 交流電源です。パワーサプライ電源は室内のグランド端子のある配線コンセントから取ってください。

ターンテーブルは湿気、熱、炎などからは遠ざけることが基本です。太陽光には当てないようにしてください。パワーサプライ、ターンテーブルに液体の入った容器は置かないよう心がけてください。

TAURUS ターンテーブルベースは 31×44cm です。

水平でしっかりととしたテーブル、ラックに設置します。ターンテーブルは水平を保った平面に置くことが大切です。水準器によって水平を確認してください。また、振動に弱いテーブルに設置しても能力を 100%発揮できませんので、頑丈な台、ラック、テーブルの重心に中心を持って行くように設置します。

まず、アームベースと一体となったシャーシとベアリング部を平面に起きます。水平を取るために水準器を使用しましょう。シャーシには高さ調整ができる脚部が 3 本あります。



3 本の内 1 本の脚部の高さはシャーシに開いているホールを通して、上から #3 六角レンチ L ドライバーによって脚部の高さ調整が行えます。他の 2 本の脚部はモーターの横にある黒いボルト下部にあって、脚部自体を回転させることによって高さ調整ができます。#3 ドライバーはアームベースを緩めるためにも使用できます。このベースでトーンアームの位置決めや、プラッター中心と支点との距離の微調整を行うことができます。

シャーシには低速度回転のモーターが取り付けられており、モーターへの電源となるパワーサプライとはシャーシ裏面にある 3 ピンプラグで接続します。(写真右) また、裏面には信号の出力端子と 2 mm のグラウンド端子 (グリーンの端子) があります

プラッターをシャーシにセットします。プラッターの中心のホールをスピンドルに合わせるように、真上から目視で確認するようにプラッターをゆっくりと下げていきます。ホールとスピンドルの位置を合わせてそのまま下ろせば完了で、プラッターはモーターシャフトと完全に一体化します。自重で固定されますので、これでプラッター設置の作業は完了です。

クランパーを使用してレコードを圧着しますが、その補助動作として、カッパーリングがあります。このリングをプラッター中心にはめ込みます。カッパー側を下にします。

このリングはクランパーとレコードが密着するように補助をします。



パワーサプライ電源コードは本体からつけ外すときには、壁電源に接続していないことをご確認ください。また、ターンテーブルを休暇、出張などで長時間使用しない場合には電源コードを壁電源から外しておいてください。パワーサプライ電源は電源が接続している場合には、放置しておかないでください。

パワーサプライとターンテーブルを専用のケーブルで接続します。接続したら、パワーサプライ電源をコンセントに入れて一時間ほど回転させてください。その後、必要なら微調整を行います。スピードスイッチの横に回転速度調整用のホールが 2 個あります。このホールにドライバーを差し込んで微調整を行います。上部のホールは 33-1/3 rpm、下部のホールは 45 rpm 用のものです。微調整にはストロボスコープを使用してください。

* パワーサプライ電源が入っている状態では、決してパワーサプライのケースを開かないでください。高圧電流は危険です。

* パワーサプライは温度センサーによって 65°Cになると自動的にオフになります。従つて、設置場所は上部 30 cm、左右 10 cmの空間を確保し、空気の流れを考慮してください。パワーサプライを何かでカバーすることは厳禁です。

トーンアームをマウントする

トーンアームをマウントするにはご使用になるアームの説明書をご覧ください。3 本のアームベースねじを外すとベースごと取り外せます。アームとスピンドルとの距離調整には 3 本のねじを緩めてトーンアームベースを回転させることで調整します。オーバーハンギングを正しく取るためには、アームに付属しているゲージ、または ブリンクマンのプロトラクターなどをご使用になると正確にアームマウンティングの位置を取ることができます。



(写真は 10.5 トーンアームです。)



右端の大きい円形がアームマウントベース、上部の小さい円形はアーム取り付けベース

HRS アイソレーションベースをターンテーブルベースとして推奨いたします。
スピーカーや床からの空気伝搬ノイズ、機械の内部ノイズに対して有効です。
BRINKMANN でも HRS アイソレーションベースを使用しています。また、BRINKMANN でも
HRS ベースを販売もしています。

アーム出力は DIN 端子(5 ピン)です。DIN-RCA/XLR のトーンアーム用ケーブルで接続します。
アーム用ケーブルは付属しておりません。恐縮ですが、お好みのアームケーブルをご用意ください。

接続

フォノアンプとは RCA ケーブルで接続します。(XLR 指定の場合にはバランスケーブルで)
付属のグラウンドケーブルも忘れずに接続してください。グラウンドケーブル用端子は
33rpm 回転速度調整用ホールの隣にある銀色の端子にグラウンドピンを差し込みます。フォ
ノアンプ側はスペード(Y)端子です。接続が終われば、演奏可能です。
快適な演奏のためにはアクリル表面とレコード表面をいつもきれいにしておくことが大
切です。レコードクリーニングには、専用のクリーニングマシンが最適です一般の洗剤など
は使用しないでください。

演奏

レコードをプラッターに載せ、クランプによってレコードを固定します。クランプは時計方向に回すと締め付けていきます。レコードを交換するには、ターンテーブルを手で押さえてクランプを反時計方向に回して外します。回転中でもレコードは交換できます。スイッチを切る必要はありません。この方法で、モーターなどに損傷を与えることはありませんのでご安心ください。取り外したクランプは、円形のフェルト（同梱されています）の上に置きましょう。

モーターについて

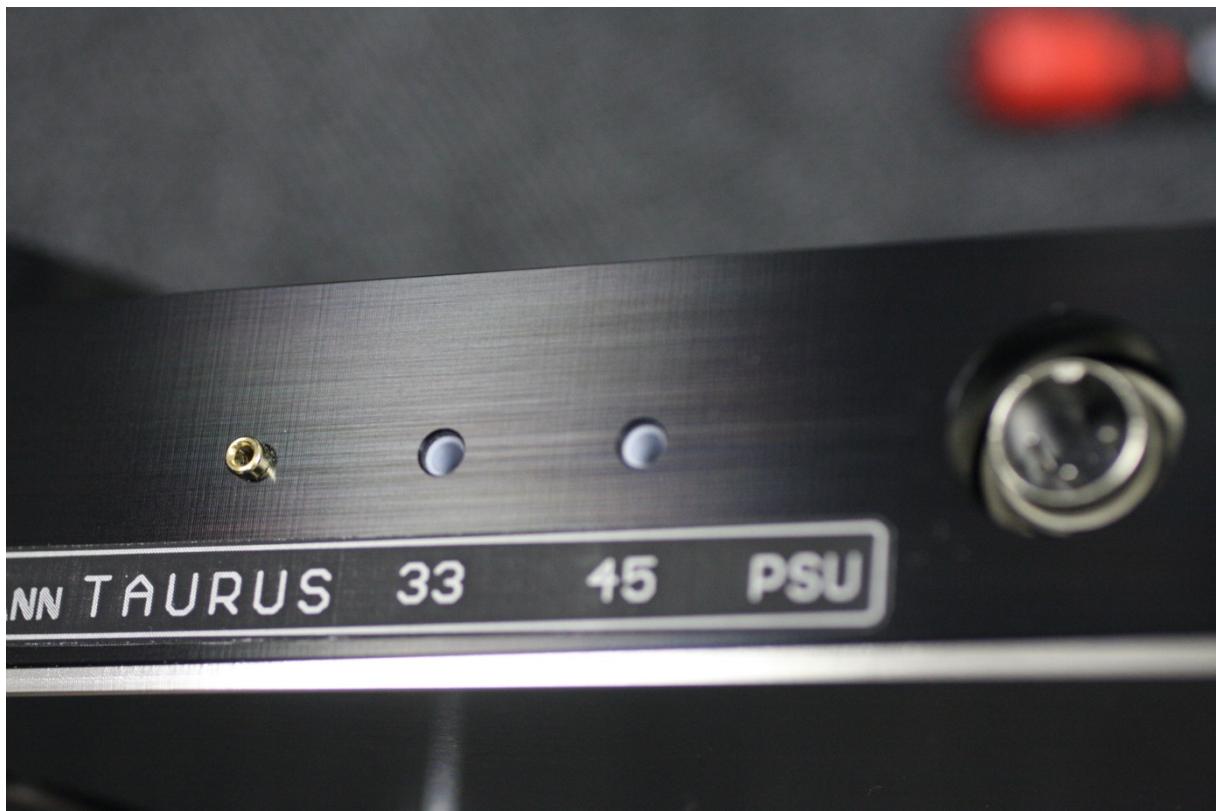
ターンテーブルはオアシスタンテーブルと同様のモーター、ベアリング、プラッター、アームベースを使用しています。ターンテーブル自体はモーターとアームベースが取り付けられている台座とパワーサプライによって構成されています。モーターはマグネットイックフィールドがマグネットに作用してプラッターを直接回転させます。接点が一点のみなので、ノイズの原因となる摩擦を減らして、回転精度を高めています。

シャーシとアームベース

シャーシには低速度回転のモーターが取り付けられており、モーターへの電源となるパワーサプライとはシャーシ裏面にある 3 ピンプラグで接続します。また、裏面には回転調整ネジ(-)と 2 mm のグラウンド端子(金メッキ)があります。

モーター

シャーシの一部に組み込まれており、プラッターベアリングに円形磁石が取り付けられています。回転は磁石下部の回路基板に取り付けられている複数のコイルに電流を送り、マグネットの反発、引き合いによって回転します。プラッターはモーターに直接乗っているので、プラッターのベアリングはモーターのベアリングになっていると言えます。電気回路は磁界に反応するホール抵抗器を通じてコイルをドライブします。そのために、低速で高精度の回転が得られました。スイッチ近辺にあるモーター電気回路のカバーには 33-1/3, 45 rpm 用の 4 mm のホールが 2 ケあります。このホールを介して、付属のドライバーによって回転速度の微調整ができます。2 ケのトリムポットは丈夫なプラスティックコートィングが施されていて、電気的なショートの心配はありません。



モーター内部の速度計ディスクによって回転数が計測され、電圧の調整が可能です。この電圧は制御基板に供給され、回転速度は基準電圧と比較されます。電圧はトリムポットによって調整ができるのです。

ターンテーブルスイッチは、上に上げると 33-1/3rpm で緑の LED が点灯します。中央の位置では点灯せずに、モーターを停止させます。下にすると 45rpm で赤い LED が点灯します。

モーターをスタートさせる最大電流は 500mA ほどで、回転するに従って 80mA まで落ちていきます。プラッターは回転中でも手で止められます。損傷などの心配はありません。コードクランプを着装する時や、レコードを取り替えるときなど、いちいちスイッチをオフにする必要はありません。

パワーサプライ

パワーサプライのケースはプラスティックで、完全に絶縁、隔離されています。出力端子は 15A 標準のものです。

ターンテーブルモーターのオン・オフは付属のコードレス リモートコントローラーにて行います。速度選択もこのリモートコントローラーで行います。

充電するには、白い充電用ケーブルでコントローラーに差し込み、もう一端の USB 2 端子をパソコン、または携帯電話充電用アダプターに接続します。



メンテナンス

プラッターのガラス・アクリルには多目的クリーニングクロスを使用して、埃などをはらいます。

液状の家具・ガラス クリーナー、洗剤、スプレーなどは厳禁です。ご注意ください。

サポート

修理はメーカーまたはその代理店においてのみ行います。プラッターのガラス・アクリルには多目的クリーニングクロスを使用して、埃などをはらいます。

液状の家具・ガラス クリーナー、洗剤、スプレーなどは厳禁です。ご注意ください。